



**土木工学科
関研究室
(2014年度3年生)**

土木学会景観・デザイン委員会が主催する第11回景観・デザイン研究発表会の景観デザイン実習作品展で、土木工学科関研究室3年生(2014年度)が優秀賞を受賞しました。

この賞は、全国の大学等13団体から応募された景観デザイン実習展で展示された作品の中で、最優秀賞1点、優秀賞2点が選出されたものです。受賞作品は2014年度にゼミナールの一環として作成し、「読者機」を1/20のスケールで詳細に再現したものです。3年生13名が約2カ月間をかけ、図面の読み込みから材料の選出、加工・製作、工程管理、コスト管理まで行い、その精巧さと学習効果の高さが評価されました。

**建築学科
3年
成 潜 龍**

建築新人戦2015で成潜龍さんの作品「浮遊する森」が8選(第5位)に選出されました。

建築新人戦とは、所属する教育機関(大学・短期大学・専門学校・高等専門学校)で取り組んだ設計課題作品を対象に実施するコンテストです。応募総数577作品の中から一次審査を突破した100作品が審査会場に展示され、二次審査・公開審査会において最優秀新人が決定されました。

最優秀新人賞1名、優秀新人賞3名に次ぐ選出でした。



**建築学科
2年
伊勢 萌乃**

住宅課題賞2015において審査員賞(木賞)を受賞しました。
生活に必要な最低限のコアに生活を豊かにする余白と多数の用途を持つゆとりが巻き付くことで、無数のつながりが生まれる住宅を設計しました。機能同士や植物・動物など人間だけでなく、あらゆるものつながりが生まれる住宅です。



**海洋建築工学科
4年
重田 秀之
中西 宏直
3年
濱嶋 杜人**

日本建築学会建築文化活用学生グランプリ2015「緑茶会」の茶席で、海洋建築工学科佐藤信治研究室の作品「紙分化作法一次世代型茶室」が入選しました。
これは建築系の学校に通う学生3名以上のメンバーで構成された設計チームを対象に、年に一度、銀座通りの周辺にお茶席を設けて行われる野立て大茶会「緑茶会」で実際に使用される創作茶席(2賞)の設計・制作家を募集するものです。一次審査で入選した上位4チームとして、実施設計と1/1模型の制作を行い二次審査を受けました。



**海洋建築工学科
4年
今村 夏波
千葉 雄介
中西 宏直**

みなと総合研究財団が主催する平成27年度「よこはまの海を活かしたまちづくりコンペ」で、海洋建築工学科佐藤信治研究室の作品「横浜港湾における伝統工芸品の展開拠点となるまちづくり」が、一次審査で入選した上位3チームとして公開プレゼン審査を受け、最優秀賞を受賞しました。



**電気工学科
4年
田中和 幸
吳 迪
種田 亮太**

電気学会主催第6回「学生研究発表会」で、電気工学科4年生が優秀発表賞を受賞しました。

田中和幸さんの発表タイトルは「省エネルギー情報伝達デバイスの設計に向けたスピニングの伝導解析」で、電子デバイスにおける情報伝達を電流ではなく、熱損失のないスピニングを用いることにより、省エネルギーを図ることを目的として、スピニングの伝導速度制御について検討し、線形形状を変化させることによって、速度制御が可能であることを報告しました。

吳迪さんの発表タイトルは「兩所円偏光を用いた超高速磁気記録方式の安定性検証」で、従来の磁気記録技術より記録速度が最大10万倍速くなる兩所円偏光を用いた超高速磁気記録方式において、加工誤差による影響が少ないナノアンテナの設計を目的とし、ナノアンテナの形状と生成される円偏光の関係を検討し、加工誤差による影響を緩和できるナノアンテナの形状について報告しました。

種田亮太さんの発表タイトルは「マイクロマグネティクスシミュレーションによる高密度磁気記録方式の基礎検討」で、マイクロ波アシスト磁気記録方式による磁気記録のさらなる高速度の実現を目的とし、磁化反転現象とマイクロ波の関係を検討し、記録に適したマイクロ波の周波数について報告しました。

